

フードドライブ 全店舗に窓口



東濃信用金庫の店舗窓口で始まったフードドライブの受け付け＝多治見市本町、同金庫本町支店

東濃信用金庫(多治見市)は14日、県内外の全営業部店55カ所で、家庭で余った食品を集めて必要としている人に届ける「フードドライブ」の受け付けを始めた。18日まで。

持続可能な開発目標(SDGs)の一環で、食品ロスを削減し、子ども食堂を運営する団体などの支援につなげようと2022年10月から始めた。同市本町の同金庫本町支店には、初日

東濃信金が受け付け開始

の午前中から早速、家庭で余っているレトルト食品、乾物や菓子が届けられていた。「今回で6回目の開催となり、周知もされてきたよう。食品を必要としている人に届けるフードドライブの活動に協力してほしい」と呼びかける。

フードドライブは、すべての店舗と出張所、とうしんウェイプラザで受け付けている。賞味期限まで3カ月以上、常温で保存可能、未開封で包装が破損していないものが条件。多治見市の店舗に寄せられた食品は市社会福祉協議会に、市外の店舗で集まった食品はフードバンク愛知(愛知県北名古屋・古屋市)に寄付され、岐阜・愛知の子ども食堂などに提供される。

(小森孝美)